

日本バプテスト連盟 全国壮年会連合

東京地方壮年連合通信

Vol. 6 8

TOKYO SOUNEN RENGOU TSUUSHIN 2015年12月15日

主題：平和を祈り、伝道に励む

「地上の氏族はすべて、あなたとあなたの子孫によって祝福に入る。見よ、わたしはあなたと共にいる。あなたがどこへ行っても、わたしはあなたを守り、必ずこの土地に連れ帰る。わたしは、あなたに約束したことを果たすまで決して見捨てない。」(創世記 28 章 14 後半～15 節)

目白ヶ丘教会牧師 古賀公一 (こが こういち)

2015 年のアドベントの中、イエスのご降誕を心より待ち望んで歩んでおられることでしょう。しかし 11 月にパリで起きた IS の同時テロは世界に暗雲をもたらしました。フランスを始めとした列強のシリアへの報復爆撃、ロシアとトルコ間の問題等々世界全体に殺戮が繰り返されています。先立つ 9 月には我が国で安全保障関連法案が成立しました。イエスに従う我々にとって、益々責任が増しました。主のご降誕を待ち望みながら東京地方壮年連合を挙げて今まで以上に、世界平和を強く祈って参りましょう。

引用の御言葉はヤコブ(後のイスラエル)がハランに向かう時、野宿した際に見た夢の中で神に語りかけられた聖句です。ヤコブの旅は逃亡でした。その原因は、本来なら兄エサウが受けるべき祝福をかすめ取ったことにあります。エサウが殺意を抱いていることを知った母が、ヤコブに逃亡を勧めました。それゆえにヤコブは、不安に包まれて路傍の石を枕に眠り込んだのです。実兄の恨みを買ひ、親に促された出奔は涙の旅だったでしょう。その場所(ベテル=神の家)で彼は夢を見ます。出て来たのは、先端が天にまで達する階段でした。しかも神の御使いたちが上ったり下ったりしています。神のご臨在が示唆されます。やがて永い年月が経過すると、御言葉通りにヤコブは 12 人の息子と一人の娘に恵まれます。義父ラバンの妨害等数々の苦難に遭遇しながらも、自らの財産は途方もなく大きなものとなりました。神がヤコブと共にいて下さり

祝福をお与えになったのです。ヤコブは神を信じ、イエスにお従いする我々の先達と解釈出来るでしょう。

冒頭に記した様に、2015年の只今の世界は暗闇が迫った状態です。我が国はといえば、平和を希求し永年守り続けた憲法9条さえ危うい状況といえます。ヤコブの末裔として、神が現代に生きる壮年に期待されているのは平和を祈り、実現する者となることでありましょう。キリスト教会を取り巻く状況は厳しい状況です。高齢化が進み、伝道に苦慮している教会も増えました。経常献金も思い通りにいかない。ハランに向かう途上のヤコブの心境ではないでしょうか。しかし彼は神の祝福の約束を忘れませんでした。ベテルでの神の御言葉を信じ、1/10を捧げることを誓いました。厳しい現実の中、神に感謝を捧げ従うことを決意しました。我々もまたヤコブの末裔として神の祝福の中にあることを忘れてはなりません。平和を祈りながら、神の約束を確信しながら伝道に励もうではありませんか。イエスの誕生は神が共にいて下さることの証しです。クリスマスは近い。

「東京地方壮年連合総会に出席して」

～11月23日 恵泉バプテスト教会～

恵泉バプテスト教会 竹下達也

午後から天気が崩れそうな天候の中、クリスマスに向け慌ただしく動き出すこの時期でしたが、東京地方連合の信徒が「連合のつどい」のプログラムを共に楽しむことができました。私は、この日の最後に開催された「東京地方壮年連合定期総会」に副議長として参加することが許されました。

議場では殆ど意見が出されず、残念ながら活気のない総会になってしまいましたが、そもそも2014年度の活動報告ともうすでに終盤の2015年度の活動計画をこの時期に話し合うのですから、熱く語れと言われても酷なことに感じます。2015年度は、「全国壮年大会 IN 東京」の開催で実行委員会と各奉仕者の方々が大いに活躍されただけに、みんなで振り返るべきでしたし、掲げられた「バプテストの信徒としての壮年の役割」というテーマに込められた、役員の思いやご苦勞を私たちももっとシェアしていく必要があると実感しました。

壮年や女性会など各信徒会が個別に行動を計画していく現状のやり方は、時に物事を矮小化させる弊害があり、結果的にグローバルに脅かさ

れる「人権の尊重」のような現代社会の掲げる課題の大きさに対し、あまりに無力に見えます。各信徒会は相互に交流しながら思いを寄せあう必要もあるでしょう。

議場審議の後、懇談の時として「東京バプテスト神学校」の課題が取り上げられました。連合選出の吉野理事が「教室問題に係わる施設改修費の募金」について説明をされましたが、理解を得る状態にはなりません。明らかなことは、3連合立の神学校をどう考えて行くのか、しっかり現実を見つめ直す時期になってきているということだと思います。



東京地方壮年連合主催
「第20回壮年研修会」のご案内

主 題

**「バプテスト主義の教会形成
： 貴方の教会は？」**

発 題：朴 思郁 (パク サウク) 師 (宣教研究所所長)

日 時：2月6日 (土) 13:30~16:00

(13:00受付開始)

場 所：大久保バプテスト教会

新宿区新宿7-26-22

(最寄り駅：地下鉄大江戸線・副都心線「東新宿」A2出口より徒歩2分)

私たちは、この研修会でバプテスト主義について分かち合い、
これからの教会形成にどう生かしていけるのかを改めて共に学びたい
と願っています。

講師と参加者による討論会形式で語り合いたいと思います。

壮年にかぎらず、女性、青年、中高生の参加も大歓迎です。

(参加費無料)

*席上献金が有ります。

(献金は仙台長命ヶ丘教会を中心とした
支援活動の復興支援金として献げます)

連絡先 090-2664-5305 (softbank 青柳)

090-3570-9872 (au 佐藤)



